

Audio Accessory

2020 WINTER 179

季刊・オーディオ アクセサリー

総力特集

まだまだ、自宅で“オーディオ三昧”

AEx
オーディオ銘機賞
Audio Excellence Award 2021

オーディオ銘機賞
2021 発表



ここから始まる、音質向上計画
“オーディオアクセサリー”銘機賞
全受賞モデル発表!



特別付録
ACOUSTIC REVIVE レーベル
ミュージック・サンプラー CD



AA誌の注目記事は
WEBでも楽しめます!

英国コード・カンパニーより新バージョン「パワーアレイ」が登場

“ノイズ・ポンプ”的第2弾到来 電源用モデルが誕生

昨年度の「オーディオアクセサリー銘機賞」のグランプリ受賞モデル「グラウンドアレイ」。英国のケーブルブランド、コード・カンパニーが手掛けた製品で、使用方法は機器の空き端子にさすだけ。機器内部のノイズを吸引する“ノイズ・ポンプ”として大ヒットモデルとなった。しかしながらこの物語には続きがあった。電源の空きコンセントが残っていたのだ。本年度、新バージョンとなる電源用モデル「PowerARAY(パワーアレイ)」が満を持して登場。その絶大な効果は本年度の審査会でも満場一致で最高の評価を獲得した。そこで本項では、林 正儀氏をはじめとする6人の審査委員がその効果を体験。その魅力を語っている。



THE CHORD COMPANY PowerARAY

電源用ノイズ対策アイテム ￥120,000(税別)

- アース付きの3ピン仕様と2ピン仕様の2種類を展開 ●使用法：①壁の空きコンセントにさす
- ②電源タップで使用する場合、最も上流側の電源ソケットにさす ●取り扱い：アンダンテラルゴ(株)



Grand Prix
(グランプリ)



高電圧環境で対応できる
高いノイズレベルに作用



Text by
林 正儀
Masanori Hayashi

電源の質を向上させるアクセサリーの中でも、急にのびてきたのが壁コンセントなどにさすタイプの製品だ。技術や効果はメーカーそれぞれ。いくつか集めて検証しているが、そんななかに英国のケーブルブランド、コード・カンパニーが参入してきた。「パワー・アレイ」である。好評の昨年度最高位グランプリを受賞した「グランプドアレイ」に続く第2弾。

ノイズ・ポンプの電源バージョンだ。電源からノイズを吸い取ると、その最高ランクのケーブル「コード・ミュージック」の譲りの技術であるスーパー・アレイを搭載している。これは確かに、具体的なアレイ素子(バッジ)や構造の詳細は明かれない。これは先入観による間違った想像を防ぐためだが、1点補足をしておこう。電源用の「パワー・アレイ」はオーディ信号レベルの微細なノイズだけをキ

とは違い、オルタネイティング(A)の高電圧環境で、より高いノイズレベルに作用する仕組みだ。また「パワー・アレイ」自体には一切の電流動作や回路を持たない。フィルターとは異なる並列接続で、供給電源はアライドバイスを経由せず、ダイレクトに機器に供給されることが他社との大きな違いだ。

同社の上級ケーブル「ミュージック」や「セイラムT」のみに採用されている絶縁素材の「タイロン」や多層のシールディングも施すという厳重なものだ。

ボディ全体が極めて強固につくられ、手に持つと重い。98gだ。電磁シールドされた内部はぎっしりと硬質樹脂を充填。素子のマイクフオニックノイズを抑えるためだが、素子同士が振動するとミクロの世界ではあるが歪みや色付けが発生する。ノイズを吸収しなら、一方で色をのせるなんて、絶対にあってはならない。ストイックなくらいに完璧を追求した作りになっているのだ。

2本、3本と複数用意すれば
電源環境の大きな改善を生む

まずはクラシックで、ブルックナー「第7番」の霧のような弱音弦のみずみずしさはどうだろう。木管ソロがぼつと浮かび上がる。ハーモニーが次第につねる。ぶ厚く重なりあって輝かしいクライマックスに至る。体が熱くなるこの高揚感は得がたい体験だ。静けさこそオーディ再生の原点であるなと、改めて知らされた。

一転してミュージカルのライブを聴くと、ただただ生きしい。いつまでベタつと平面だった曲が、3次元的に広がる声の位置と表情。そして歩幅までわかる臨場感がすごい。これも静けさがベースで、S/Nや解像度がしっかりと確保されているからこそだ。

ジャズは聴きなれたピアノトリオで、あつという間にステージができる。トリオの三角形があるべき位置にぴたつとおさまり、ドラムやシンバルの質感とリアルな点しまって、外した時のあまりの落差に愕然とするだろう。

今までもなく、電源はすべての元だ。応用編としては「パワー・アレイ」での改善をベースとして、「ラウンドアレイ」で対策する。コード・カンパニーの開発魂によるシステム全体を覚醒させることができ。そのボテンシャルは魅力だが、できれば上流と下流はタップごと分けたい。筆者の場合、モノ

ラルパワー・アンプ(ファーストワットSITI)のセパレーションと純度感、駆動力が格段に増強された。予算を工面して2本、3本と複数本用意できればそれだけ用途も広がるわけで、電源環境の大きな改善につながる。



電源タップで使用する場合、最も上流側の電源ソケットにさすことを推奨している

根こそぎノイズが吸され
桁違いの静寂に包まれる

使い方はシンプルで、壁コンセントや電源タップにさすだけだ。

S/Nや音場が澄む度合いがすご過ぎる 外した時があまりの落差に愕然とする

井上千岳
Chirake Inoue

「PowerARAY」を壁コンセントの空き端子にさした状態

**音楽が洗い直したように新鮮
一般フィルターとは違う**

井上千岳
Chirake Inoue福田雅光
Masamitsu Fukuda

**輪郭が際立ち、解像度が向上
明らかに表現精度が高くなる**

生形三郎
Saburou Ubukata

身体に浸透するような変化に驚く より瑞々しいサウンドへと変貌

昨年の日本上陸と共に“グランプリ”を得た、本アワードや市場から大きな話題を集めているコード・カンパニー社のノイズポンプことグラウンドアレイシステムにも配慮した多層シールド等が施されている。

パワーアレイは、本誌試聴室に加え、自宅環境でも長期間使用してみたが、その効果は実に魅惑的なものであった。プリアンプやソース機器を接続する電源ボックス、そしてパワーアンプを接続する

昨日発売されたグラウンドアレイには驚愕したものだが、その技術を今度は電源に応用して「パワーアレイ」が開発された。目的はもちろん同様で、電源信号に含まれる高周波ノイズを減衰させること。そして今回もその目的は見事に達成されたのである。

アレイ・テクノロジーは人々、ケーブルのノイズ対策から発見された現象が基礎になっている。電気信号はインピーダンスが急変すると反射を起こす。特に高周波になると反射が起きやすい。このことを利用して、端子との接点で起きた高周波の反射を別の導体に導いて解消するのがアレイ・テクノロジーだ。

グラウンドアレイもそうだが、今回のパワーアレイにも同様の構成が採用されている。その効果は目覚ましく、再生音全体に絡むノイズっぽさ、要するに汚れや濁りがきれいに消えて静かさが際立つ。特に低域での解像度が見違えるほど向上することに目をみはる思いがする。エネルギーも高まって彫りが深く、音楽が洗い直したように

新鮮だ。一般的なフィルターとは違う画期的な製品である。

新鮮だ。一般的なフィルターとは違う画期的な製品である。

テスト試聴すると、S/Nを高め混濁が排除されすつきりした音に効果を見せる。輪郭をはっきりさせ解像度が向上する。明らかに音のゆるみ、ぼけ、ふくらみが改善され表現精度が高くなるのが魅力である。この種の製品を2個使う方法もあるが、筆者は2倍の効果を發揮するとは考えていない。むしろグラウンドアレイとパワーアレイという複数使いであればメリットがあるだろう。

電源信号レベルの高電圧環境の、より高

いノイズレベルに対応するよう設計されている。ほかにも、同社こだわりのタイロン絶縁システムや、音質だけでなく安全性にも配慮した多層シールド等が施されている。

パワーアレイは、本誌試聴室に加え、自宅環境でも長期間使用してみたが、その効果は実に魅惑的なものであった。プリアンプやソース機器を接続する電源ボックス、そしてパワーアンプを接続する

電源ボックスに接続すると、S/N感が向上し、機器が持っているサウンドキャラクターがより十全に發揮されるようになった。より明瞭に、そして、力強く音楽が迫ってきたのである。

自宅システムでは、色々な場所に試してみた結果、コンセントの場所などでも微妙な変化が楽しめると共に、やはり上流の電源ボックスへの使用が最も効果的であった。その効用は実に大きく、出音から歪み感が減り、音楽が実際に快く耳へと、身体へと浸透していくような変化に驚かされた。より生き生きと、より瑞々しいサウンドへと変化するのである。

要注目の電源アクリサリーとして、ぜひともチェックしておきたいプロダクトである。

●アンダンテラルゴより

高周波ノイズとはどんなものでしょう? 悪影響があると言わながらも実態を感じるわけでもないので、スルーしているオーディオファンも多いことでしょう。ラジオ放送のノイズやフォノ・イコライザ等から聞こえるノイズとは全く異なり聽感上、これという形で聞こえるものではありません。では何がどのような風に影響されているのでしょうか? 強いて言うなら、滑らかで味わい深いお料理に極めて微小な塵が混入したようなものです。あなたのオーディオから聞こえるサウンドにはこの塵が混入し、音を濁らせてはいませんか?



前代未聞のオーディオアクセサリー 低域の立体感や表現力が格段に上がる



鈴木 裕
Yutaka Suzuki

壁コンセントや電源タップの空きソケットに挿すタイプのオーディオアクセサリーだ。筆者の言い方だと、並列型電源フィルター類と仮に呼んでいるが、そうした製品の中でも特徴のある働きをする製品だ。多くの並列型に感じるノイズ除去能力も素晴らしいものがあるが、それとともに電源の「位相」を適切な状態に整えるような働きを感じさせるからだ。ちなみに使い方のコツとしては電源タップを使用している場合、電源入口に最も近いソケットに差し込むことが推奨されている。

さてその作動する仕組み。同社のアレン・テクノロジーの応用で、特にグランド・アレイの技術を、より高い電圧／電流に応用させている。グランド・アレイでは機器内部で発生した高周波ノイズを機器の空き端子（出力や入力）に接続して減衰させるが、そのポイントはアースラインにのみ働きかける技術である点。一般的なノイズフィルターのような信号経路一ネットと供給電源の間に介在せず、弊害や悪影響を発生させず、効果的にノイズだけを減衰させる。ちなみにパワーアレイ自体は一切の電流動作や回路を持たず電気を食わないため、「最大電流や瞬間レスポンスの制限、電源インピーダンスの変動などによる音質劣化を起こさない」とメーカーでは謳っている。内部素子はミクロ単位の振動から発生するノイズを抑えるため、すみずみまで硬質樹脂を充填、極めて強固な構造を取っている。その効果は、拙宅のシステムを含む3カ所のオーディオシステムで確認したが、大きく3つに分けられる。まず、高周波のノイズに起因するスマーキーな音色感や、空間の見通しの悪さ。こうしたものをお高いレベルで改善する。二つ目はスピーカーから音が出ていない感じ、音離れの良さが決定的に良くなり、臨場感の向上が著しい。3番目は低域の立体感や表現力が格段に上がる。たとえばオーディオにのみ働きかける技術である点。一ヶストラで低音弦がブンッと弾いた時に、それによって空気が動くような感じを音像としても音圧感としても再現してくれる。こんなオーディオアクセサリー、前代未聞に感じる。オーディオアクセサリー銘機賞2021のグランプリを受賞するのも自然な流れだった。

まるで音の品位が段違い どこまでも伸びる音楽表現



炭山アキラ
Akira Sumiyama

コードカンパニーといえば、他の誰も考えつかない独創的な構造のケーブルで、他のどこも成し得なかつた再生音の世界を構築している社、という印象が強い。そんな同社がケーブル以外の製品を出してきて驚いたのが、「グラウンドアレイ」と名付けられた一連の製品群である。当初は主にインターフェース系の空き端子へ挿して使用する製品がラインアップされ、RCA、XLR、LAN、USB、BNCにHDMIまでそろつている。RCAとXLRは自宅のシステムでもじっくり試すことがかなつたが、一聴の低下と解像度の向上、音場の掃き清められたようなクリーンさにもう離れ難くなってしまい、結局RCAをわが家へ常駐願うこととなつた。

そして今秋、満を持していた感のある電源コネクター用が登場した。改めて輸入元アンダントラルゴの鈴木代表にじっくりと解説していただいたが、3ピン方式のコネクター・ブレードに100Vの電流は流れないので、というか回路としてはつながっていないそうで、それぞれのピンから高周波のノイズのみを吸収する機

構となつていて。見た目も少し丈の長いコンセント・プラグという感じだし、空きコンセントが1口あれば、システムの邪魔にならず使えるグッズといつてよいだろう。

試聴は本誌試聴室で行つた。まずデフォルトで音楽を聴き、本機を電源タップへ挿して再び同じ曲を聴いたのだが、最初の数秒で笑つてしまつた。もうまるで音の品位が段違いになり、やや渋めの輝きをまといつつ、明朗闊達にどこまでも伸びる音楽表現は、まさにオーディオの醍醐味といつてよい。この音質向上はどうか同社の最高峰「コードミュージック」のケーブルへ取り替えた時の印象に近いものがある。やはり同じエンジニアが共通の「真実」へ向けて、心血を注いだ作品だからであろう。また、グラウンドアレイよりも電源の方が効き目が大きいようにも感じられた。電源こそがあらゆる機器へ効果が及ぶからであろう。その後自宅でも試してみたが、一応は電源周りを対策しているわが家でも、かなりしっかりと効き目を感じられた。本当にすごいグッズである。

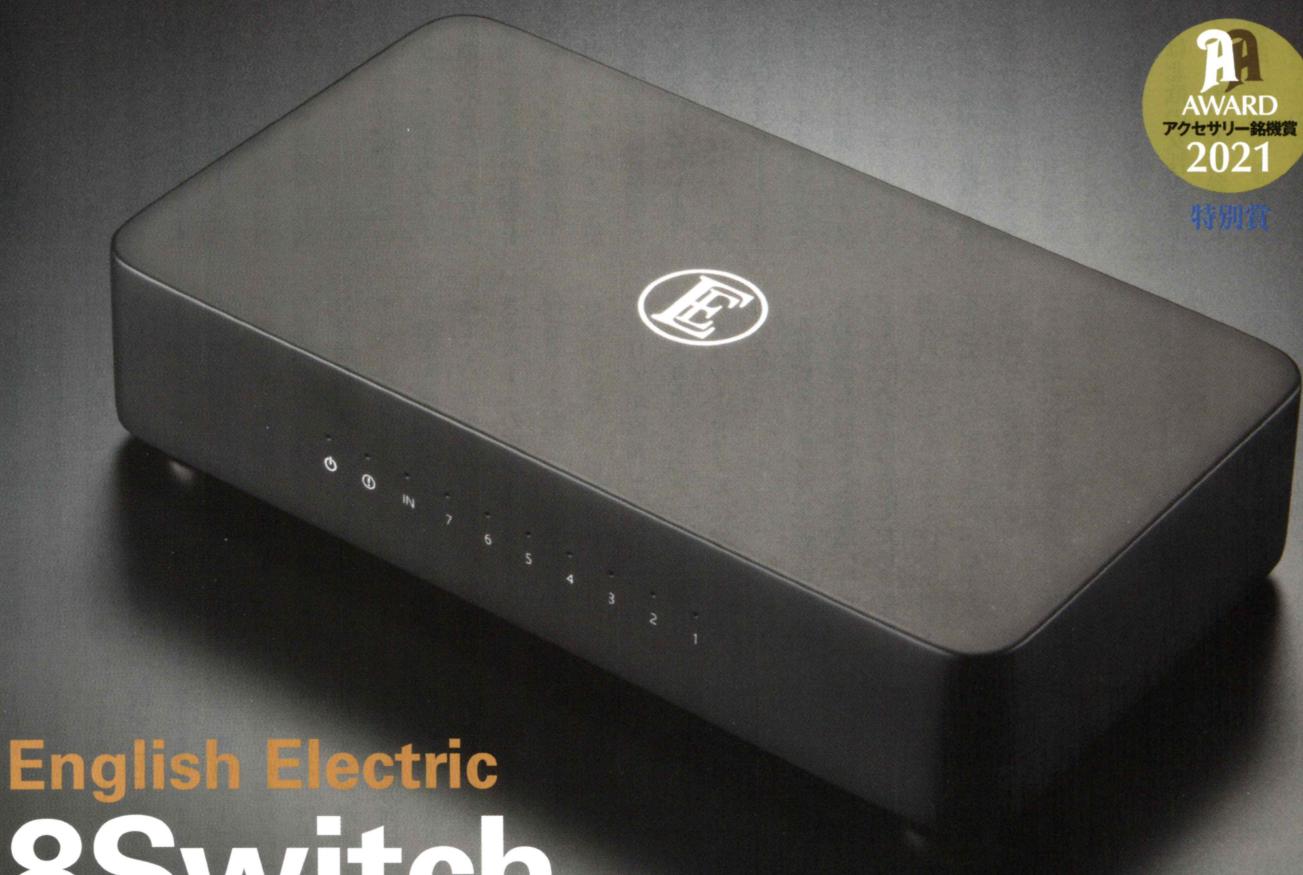
新ブランド、English Electricの第1弾アイテム ネットオーディオ再生の最終兵器 オーディオ専用スイッチングハブが登場

英国のケーブルブランド、コード・カンパニーよりサブブランド、English Electricが始動した。その記念すべきデビュー作として誕生したのがオーディオ専用スイッチングハブ「8Switch」である。コード社が長年にわたって取り組んできた高周波ノイズ対策。ここで培われたシールド技術を投入し、同社のLANケーブルの実力を最大限に引き出すために開発された戦略モデルである。その実力は高く評価され、本年度の「オーディオアクセサリー銘機賞2021」にて“特別賞”を受賞している。その実力はいかなるものか？林 正儀氏によるレポートをお届けする。

Text by
林 正儀
Masanori Hayashi
Photo by 田代法生



特別賞



English Electric 8Switch スイッチングハブ

¥98,000(税別)

Specifications

●対応イーサネット：100／1000 Base-T ●ポート数：8ポート ●高精度TCXOクロック技術搭載 ●筐体：アルミニウム・ダイキャスト ●ACアダプター：5V対応の医療用グレード ●サイズ：152W×83D×35Hmm ●質量：422g ●取り扱い：アンダンテラルゴ(株)

ケーブル開発で培ってきたノウハウを徹底的に注入
ストリーミングやダウンロードなど、ネット環境で音楽を楽しむリスナーが筆者のまわりにも増え中だ。黎明記に比べるとケオリティと使い勝手、そのどちらも劇的に進化してネットワーク再生の敷居も低くなつた。

そんななかで、英国のコードカンパニーはLANケーブルのラインアップを充実。初級者向けの「Cストリーム」からトップエンドの「ミュージック」まであり、その流れを加速するように初登場したのが「エイトスイッチ」と呼ぶ、オーディオ用のスイッチングハブである。映える「オーディオアクセサリー銘機賞2021」で特別賞を授賞した画期的なアイテム。コード社がイングリッシュ・エレクトリックという別ブランドを立ち上げるほどの力の入れようだ。

改めてスイッチングハブの役目、その重要さとは何か？ただのLANセレクターではない。実際に「エイトスイッチ」を使えば、これはシステム全体のコントロールを支配するキーコンポであると気をつかわれるはずだ。その名のご



これだけ圧倒的な差がつくとは 良質なハブの導入が、いまこそ重要

II LAN端子を搭載している。メカニカル情報によると、100/100BaseTギガビット対応という最新も仕様。高精度なTCXOクロックも搭載され、ジッターやノイズを大幅に低減。SFP光ポートは光変換のデメリットから音質上採用されていないとのこと。端子は高級金メッキだ。さらに注目はネットワークを伝わる種々の雑音や、外部から飛び込む高周波ノイズ対策だろう。彼らがケーブル開発で培ったノウハウを徹底的に注ぎ込んだもので、筐体は完全密閉のコンパクトなもの。小型IIベータアルミダイキャストは高価なクラスの入りようがない完璧な設計の一だと思う。振動と放熱にも強いブシエル構造で、どこからもノイズの感嘆した。電源は外部電源を使う形だが、これも医療グレードにこだわったもの。

ハブは無線LANルーターのLANポートが不足した際の助つ人ではあるが、オーディオ専用の高性能な「エイトスイッチ」ならば

用されないとのこと。端子は高級金メッキだ。さらに注目はネットワークを伝わる種々の雑音や、外部から飛び込む高周波ノイズ対策だろう。彼らがケーブル開発で培ったノウハウを徹底的に注ぎ込んだもので、筐体は完全密閉のコンパクトなもの。小型IIベータアルミダイキャストは高価なクラスの入りようがない完璧な設計の一だと思う。振動と放熱にも強いブシエル構造で、どこからもノイズの感嘆した。電源は外部電源を使う形だが、これも医療グレードにこだわったもの。

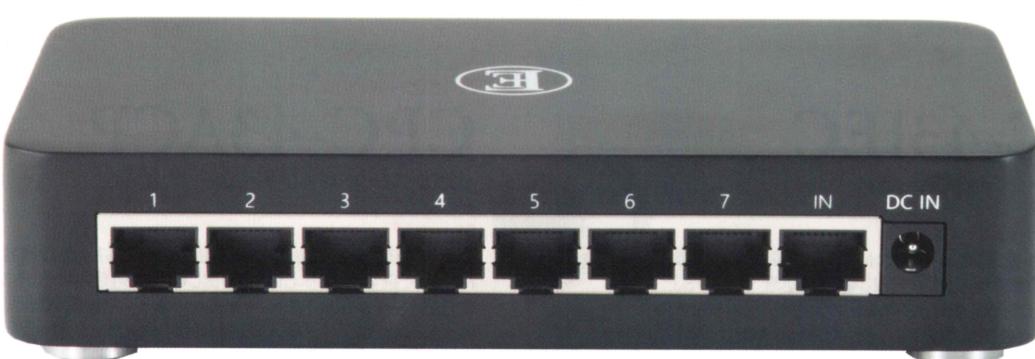
CDリッピング音源を主に再生したが、そもそもS/Nやステージ上の見通し感に圧倒的なひらきがあった。モヤつきや細部の濁りらしき不純物がきれいに取り払われ、ウォーカルや楽器群の実像がクリアで、強力にフォーカスが

S/Nや見通し感が圧倒的 音の実像がクリアに立つ

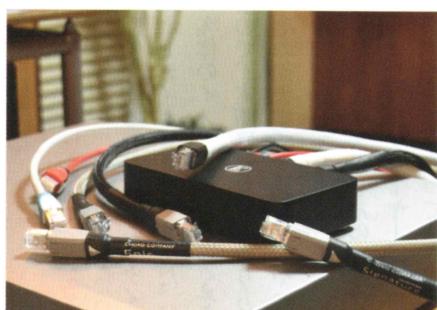
実際の試聴は比較のために「エイトスイッチ」のほかにサイレントエンジエルという台湾製と20円超の国産高級モデルも用意した。

CDリッピング音源を主に再生したが、そもそもS/Nやステージ上の見通し感に圧倒的なひらきがあった。モヤつきや細部の濁りらしき不純物がきれいに取り払われ、ウォーカルや楽器群の実像がクリアで、強力にフォーカスが

のうねりが一本鉛子(平面的)ではなく、より活力があつて生音らしく有機的に感じられるのだ。ジャズや現代音楽。昭和歌謡などの歌モノも実にいい。ソースの原形を一切加工せず、自然体ならだ全体で受けとめた境地となつた。大袈裟なようだが、事実は事実。ハブの違いでこれだけ圧倒的な差がつくとは。良質なハブの導入が、いまこそ重要なことがわかる。



8Switchのリア部。8つのLANポートを搭載。フロント部のLEDは1000M接続時は緑に、100M接続時はオレンジに光るが非常にひかえめ。シアタールームなど暗めの部屋でも邪魔にならない



「8Switch」はコード社のLANケーブルの実力を最大限に生かすために開発されたもの。LANケーブルは「C-Stream」「Shawline」「Epic」「Signature Super ARAY」「SarumT Super ARAY」「ChordMusic」まで6種類がラインアップ

上がって、それぞれに正確な遠近感が感じられるような変化だ。CDがハイレゾになつたというか

**「エイトスイッチ」でこそ生きる
LANケーブルの実力は
「エイトスイッチ」でこそ生きる**

「エイトスイッチ」のポテンシャルをさらに証明してくれるのがコード社のLANケーブルの存在で

「エイトスイッチ」の登場をともに喜びたい。彼らは思つだろう。スイッチングハブも自らの手で作ることが、手塙にかけたLANケーブルたちを実力通り正に評価するものだと。「エイトスイッチ」の登場をともに喜びたい。

ある。全6ランクのケーブルを「エイティスイッチ」とNAS間で実際につけかえて聴いてみると、エンターテイナーの「Cストリーム」、「エピック」、そして高級シリーズの「シグネチャー」、「セイラム」、「トップエンジニア」の「ミュージック」(76万円/1m)までそれぞれの特質とパフォーマンスがさらに正確に、如実にあらわれてきたのである。



「グランタワー」導入の日。同製品の開発者であるアンダンテラルゴの鈴木氏から製品の概要を知る筆者

福田雅光の新試聴室、オーディオラック導入記

アンダンテラルゴの最高峰 “グランタワー”の魅力

福田雅光氏の新試聴室。ここに導入するレファレンス機器が着々と決まっているなかで、オーディオラックの選択も重要な要素となる。同氏がメインラックに選んだのはアンダンテラルゴが手掛ける最高峰モデル「グランタワー」であった。実際に導入して、どんな効果を發揮しているのか?さっそくその魅力をレポートする。

Text by
福田雅光
Masamitsu Fukuda



現在は2段目にCDプレーヤー、トップにプリアンプを設置して使っている

混濁を徹底排除するため
最高の素材構造を投入した

造。構造と素材を徹底追求したラ
ックである。

独自の構造設計を追求するアン

ダンテラルゴのオーディオラック

は、メーカー試聴室で経験してい
た。軽量構造で簡単に持ち上がり、
決して重量構造ではない。新規に
開発した最高級モデル「グランド
タワー」は、振動伝達経路での混
濁を徹底して排除する工夫が導入
された。従来の常識からすると、
こんな薄い棚板でいいのかと考え
る。しかしボードは多層積層合板。
接着剤は高剛性を発揮する特殊2
液で購入すると50mlで5千円はす
る。コーナーリジョイントはアルミ
系で最も剛性の高い超超ジユラル
ミニン7075をプロックから切削
加工、支柱パイプは32φのチタン
の内部に特殊充填材を投入。スペ
イクは特殊ステンレスの超銳敏構

固まっていた音がぼぐれ
演奏のひだが見えてくる

これをB&W 800 D3を使う
新試聴室でCDプレーヤーを設置
して試聴した。主に中音高音の先
鋒度を示すトランジエントが素晴らしい。純度が違う。鋭敏で高域
特性は低歪で高S/N。倍音スペ
クトラムを纖細に美しくのばして
いる。低歪みであり音の直進力が
違う。もちろん低音の分解力も低音
弦楽器の旋律が明確だ。これまで
固まっていたものが、一音一音さ
らに演奏のひだが見えてくる。現
在は2段目にCDプレーヤー、ト
ップにプリアンプを設置して使つ
ている。高額な製品であることに
間違いないが、その重要性やメー
カーゲが追求する姿勢が理解できた。



Andante Largo Grand Tower

オーディオラック(3段)
※フレームのカラーはシルバーとブラックの2色を用意
※2段から6段仕様までラインアップ
●棚板サイズ: 620×517mm ●ラインアップ: 高さ740mmの「Grand Tower 743」(¥1,200,000)と高さ550mmの「Grand Tower 553」(¥1,120,000) ※そのほか、棚板サイズ 540×445mmの「GrandTower Mid」も用意
●取り扱い: アンダンテラルゴ(株)